

Press Release

2022年11月28日
株式会社コンカー

ウエルシアホールディングス株式会社、 グループ全体の間接費業務標準化に向け「SAP Concur」を採用

～非コア業務の削減とデジタル変革、ペーパーレスを通じてサステナビリティ経営へ貢献～

出張・経費管理クラウドのリーダーである株式会社コンカー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三村 真宗、以下 コンカー）は、ウエルシアホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本 忠久、以下ウエルシアグループ）のグループ間接費管理基盤として SAP® Concur®が採用されたことを発表いたします。

近年 DX を通じた業務効率化を図る企業が増加し、利益を生まない単純業務の効率化、コスト削減等が進んでいます。DX の推進により、業界・業種を問わず、従来型のワークスタイルが変化し、企業の根幹を支えるコア業務に社員が注力できる環境が整備されつつあります。

ウエルシアグループは間接費業務のデジタル化を推進するため、経費精算・管理クラウド「Concur Expense」を含む SAP Concur を採用し、グループ横断での業務の簡素化・統一化を進めます。

経理部門だけでなく申請・承認者も含めた全体での大幅な業務効率化を実現。コア業務・売上拡大への一層の注力できる環境作りを推進します。また改正電子帳簿保存法とインボイス制度への対応は勿論、クラウドサービスへのシフトにより今後の外部環境変化への迅速かつ柔軟な対応を目指します。さらに、ペーパーレスやリモートワークの強化を通じて、CO2 排出削減、ESG への貢献が期待されます。

<導入製品>

- ・経費精算・管理クラウド「Concur Expense」
- ・請求書管理クラウド「Concur Invoice」
- ・専門オペレーターがエンドユーザーからの問い合わせを一元管理する「ユーザーサポートデスク」
- ・専門の担当者が稼働後の管理・設定作業の支援を行う「Concur Essential Care」

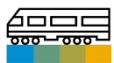
<SAP Concur の主な選定ポイント>

- ・大手企業における No.1 の導入実績と豊富な知見
- ・グループ導入の実績が豊富でスムーズに各社へ展開可能なプラットフォーム

- ・優れた UI と稼働後の利用者に対する定着支援の充実
- ・システム導入段階から稼働後の変化対応・改善までカバーする手厚いサポート体制
- ・積極的な機能拡張や外部サービス連携、関連法改正貢献などの市場牽引力

<主な導入効果>

SAP Concurの主な導入効果



業務工数の削減

交通系ICカードデータや
領収書のOCR機能活用で
入力や確認の工数削減



サステナビリティ経営への貢献

ペーパーレス・リモートワークを実現
CO2排出削減・ESGに貢献



ガバナンス強化

自動規定チェック
利用状況可視化で不備を抑制
運用改善を継続



働き方改革への貢献

モバイルアプリを活用することで
社外からの申請や承認が可能
経費精算のための出社を抑制



■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur の日本法人で、2010年10月に設立されました。

『Concur Expense（経費精算・経費管理）』・『Concur Travel（出張管理）』・『Concur Invoice（請求書管理）』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。

コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

■SAP Concur について

SAP Concur は、出張、経費、請求書管理を統合したソリューションを提供する世界有数のブランドであり、これらのプロセスの簡素化と自動化を追求しています。高い評価を得ている SAP Concur のモバイルアプリは、社員の出張をサポートし、経費を自動で入力し、請求書の承認を自動化します。AI を使いリアルタイムのデータを統合、分析することで、効率的な支出管理を行うことが可能です。SAP Concur のソリューションは、手間の掛かる作業をなくし、お客様の業務効率化に貢献、最高の状態でビジネスを進めることができるようサポートします。詳細は concur.com または [SAP Concur ブログ](#) をご覧ください。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。